

[国語科]

◎良好であった設問

言葉の特徴や使い方に関する問題（文脈に即して漢字を正しく使うこと、事象や行為を表す語彙について理解すること）

⇒ 毎時間、始業時に取り組んでいる漢字学習や、年4回実施している漢字テスト、国語辞典を利用した語句の意味調べを継続している成果が少しずつ現れたのではないかと考えられます。

△課題が見られた設問

2 村田さんは、国語の時間に、学校の活動を地域に広げるアイデアについてスピーチをする学習に取り組んでいます。村田さんは、青木さんとあなたにスピーチのリハーサルを見てもらい、助言を求めています。次の【村田さんのスピーチ】と、〈スライド①〉から〈スライド⑤〉までを読んで、あとの問いに答えなさい。

【村田さんのスピーチ】

私は、「マリープロジェクト」をもとにしたアイデアを考えました。「マリープロジェクト」は、皆さんも知っているとおり、環境委員会が参加者を募って行っている、マリーゴールドを育てる活動です。参加したことがない人も、登下校のとき、きれいに咲いたマリーゴールドの花に、心が粗んだこともあるのではないのでしょうか。マリーゴールドは、苗から育てることが多いのですが、この活動では、採取した種から育てています。

ここで、〈スライド①〉を提示

スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。咲いた花を楽しむだけではなく、手入れをしながら成長を見守ることに魅力を感じ、私は、1年生のときからこの活動に参加しています。

村田さんは、【村田さんのスピーチ】の——線部の「スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。」のように、スライドを使って話しています。このときの村田さんの話し方を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 聞き手の印象に残るように、スライドで意見だけを要約して示しながら、意見とそれを支える根拠を話している。
- 聞き手によって経験が違うことを考慮して、スライドで補足の情報を示しながら、話の要点を絞って話している。
- 聞き手が興味をもつように、スライドで異なる視点からの情報を示しながら、自分の主張を繰り返し話している。
- 聞き手からの質問を想定して、スライドで質問に対する回答を示しながら、自分の立場と考えを話している。

「マリープロジェクト」

種採取 → 花が枯れる → 種まき → 手入れ・水やり → 開花 → 次の年へ → 種採取

持続可能

マリーゴールドの種

<課題>

資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

<対策>

聞き手を意識した発表活動を授業の中に位置づけます。具体的には、ビブリオバトルやディベートなどの活動を授業に取り入れることで、自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝える経験を増やしていきます。

また、ただ話すだけではなく、資料の提示方法に工夫を求めするなど、表現の技術を高めていけるように取り組んでいきます。

[数学科]

◎良好であった設問

連続する2つの3の倍数の和が9の倍数になるとは限らないことを説明するために、反例をあげてその和を求める問題

⇒授業で文字式を用いた説明問題に取り組む際に、具体例を取り上げて問題を理解してから、見通しを持って説明を考えたことが効果的だったと考えられます。

△課題が見られた設問

5 下の表は、ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表です。

階級 (m)	度数 (人)
以上 未満	
5 ~ 10	3
10 ~ 15	8
15 ~ 20	9
20 ~ 25	10
25 ~ 30	6
30 ~ 35	3
35 ~ 40	1
合計	40

20 m 以上 25 m 未満の階級の相対度数を求めなさい。

<課題>

相対度数の意味を理解し、表を活用して数学的に処理すること。

<対策>

授業で、身の回りにある具体的なデータから相対度数を求める活動を通して、用語の理解を深めていきます。

また、「データの活用」の単元に限らず、数学的用語の意味の理解に課題が見られるため、思考過程の説明や、授業の振り返りを書く際に、数学用語を意識的に用いて説明や記述をするように取り組んでいきます。

[理科]

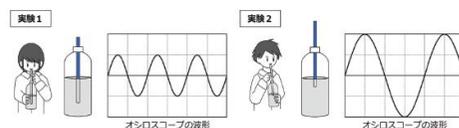
◎良好であった設問

思い浮かんだ疑問に対し、Web ページの情報だけを信用して考察してよいかを考える問題

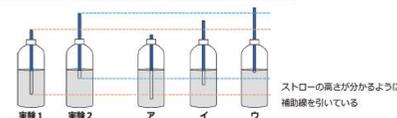
⇒授業で課題を解決する際に、Web ページを調べるだけでなく、グループ内で話し合ったり、観察実験を行い考察したりするなど、様々な形式で取り組んだことが効果的だったと考えられます。

△課題が見られた設問

【実験】「ストロー内の空気が入る長さ（■の部分）」を変えて実験を行ったときのオシロスコープの波形を観察しました。



右のように【考察】しました。
 【考察】「ストロー内の空気が入る長さ（■の部分）」が、長くなるにつれて、音はだんだん低くなる。
 【考察】をより確かなものにするためには、あと1つ実験を行うとよいですね。次のア、イ、ウのどれで実験を行えばよいのかね。



(1) 正確さについて、【考察】をより確かなものにするために1つ実験を追加するとしたら、上のア、イ、ウのうち、あなたはどの実験を選びますか、1つ選んでください。
 上のア、イ、ウのどの実験を選んでおきましょう。
 また、上で選んだ実験を行ったときに、オシロスコープの波形から何が分かればよいのか、相対度数という言葉を使って書きなさい。

<課題>

【考察】をより確かなものにするために、必要な実験を選択し、予想される実験結果を記述すること。

<対策>

課題に対し仮説を立て、それを確かめるための実験計画や、仮説が正しい場合に予想される

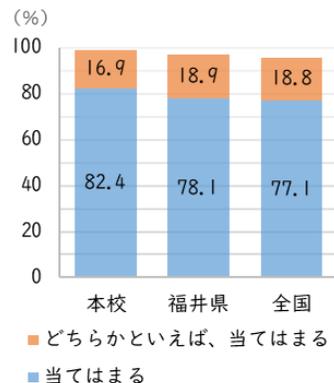
結果を考えさせる機会を設け、記述の経験を積んでいきます。

また、実験計画を仲間説明する場面を設け、自分で計画を整理する力を育てていきます。

[生徒質問紙より]

○良好な点

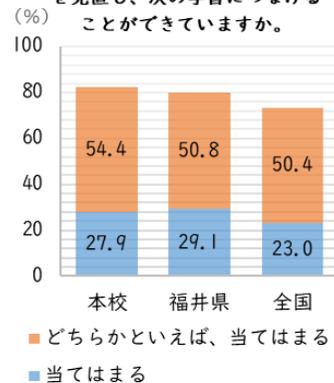
いじめは、どんな理由があってもいけなないことだと思いますか。



本校では、普段の学校生活や道徳の授業だけでなく、ST（松陵タイム）という活動を通して、相手のあたり前を尊重し合うことができる集団づくりを目指しています。

このような日々の取り組みにより、互いのことを考え、思いやる心が成長しているということが、この質問に対する数値に反映されていると考えられます。

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

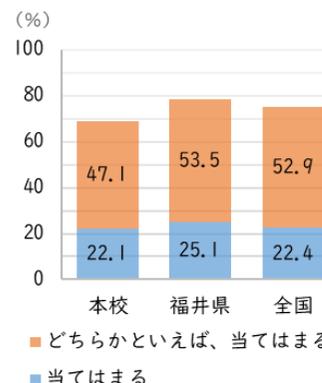


この質問に対する肯定的な回答の割合は、全国平均と比べて9%ほど高く、学習のサイクルが少しずつ身につけてきていることが分かります。

これは、個別最適な学びを目指し、タブレットを用いたAI型教材に取り組んだり、単元テストで学習の振り返りを行ったりするなど、生徒が自分の学びを設計・調整する機会を増やしたことが影響していると考えられます。

△気がかりな点

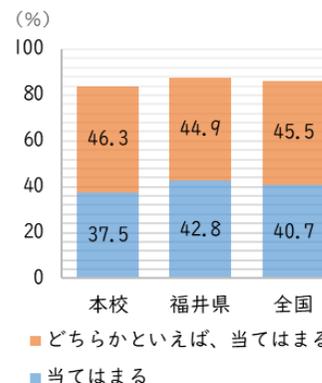
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



本校のスクールプラン「地域に自分ができることを考える」という項目の数値目標70%を達成できていない状況です。

今後は、社会とのつながりを意識した探究的な学びをさらに充実させ、地域を愛し、地域から愛される松陵中生を育てることを目標に、教育活動を進めていきます。

自分には、よいところがあると思いますか。



この質問についても、本校のスクールプラン「自分にはよいところがある」という項目の数値目標85%を達成できていません。

生徒が主人公だと実感できる生徒会活動や、挑戦し合う仲間を尊重する風土の醸成に努め、自己肯定感を着実に高めていきます。